

茨城県議会
議事堂

新年明けましておめでとうございます

世界を震撼させたアメリカの同時多発テロ事件、長びく不況に加えて日本中を深い悲しみが襲った大阪の小学校児童殺傷事件、狂牛病問題などで大きく揺れた2001年でしたが、そういう中で年末の愛子内親王のご誕生は、明るい希望を与えてくれました。

本年は、私たちのふるさとで世界最大のスポーツイベント『2002FIFAワールドカップ』が開催され、また全国高校総合体育大会が行われる記念すべき年を迎えました。

世界中の人々が、カシマスタジアムで繰り広げられる世界最高のプレーに胸をときめかせ興奮する。その歓声が今にも聞こえてくるようです。と同時に、訪れる人々をホスピタリティを持って迎えることによって、あたたかく活力にあふれた茨城鹿島の魅力を世界に知っていただく、絶好のチャンスでもあります。

そして、このワールドカップを一つのきっかけとして、これまでの鹿島開発で築いてきた発展を『真の豊かさ』へとつなげること、それが私自身に課せられた大きな使命だと思っています。

この地に生まれ育ったことを、みんなが誇りに思えるふるさとづくり。そんな茨城鹿島の新ステージに向かってチャレンジします。

茨城県議会議員

後援会 会報・No.11

西条昌良

2002

NEWS

平成十三年十二月の定例県議会で一般質問(抜粋)



【銚子大橋の架け替え】

西条県議 銚子大橋は昭和37年に開通し40年がたった。長年の潮風の影響もあり、橋の部材が腐食したり橋脚にヒビが入り通行車両の重量制限が行なわれている。このまま塩害による損傷が進行した場合、重大な事故の発生が懸念される。人命尊重の立場から早急な対応を講じる必要があると考え、銚子大橋の現状をどのようにとらえ対応していくのか？

土木部長 早期の架け替えが必要で、設計や関係機関との協議を進め、2003年(平成15年)ごろには事業に着手できるようにしたい。また、新橋が架設されるまで安全確保をはかります。

【利根川リバーサイド道路の具体化】

西条県議 利根川リバーサイド道路についてはこれまで、定例会・委員会などを通じて実現を訴えてきたが、県の長期総合計画にも盛り込まれ、具体化のための調査が始まった。

県は道路ネットワーク等の調査を実施しているようだが、現時点での調査結果の概要、実現する上での問題点、工事着工までの見通しを伺いたい。

土木部長 平成9年度から具体化に向けた調査を始め、今年度から利根川沿いの広域的な都市圏を対象に道路網計画を策定する。年明け早々に研究会を設立し道路構想を具体的に位置づけ、早期実現化に努力する。

【(仮称)神栖大橋の早期具現化】

西条県議 鹿島地区と千葉県北総地区の将来像を想定し、新たな架橋を含めた道路交通体系を再構築のうえ、奥野谷知手線を延長し、東庄町と神栖

町を結ぶ「(仮称)神栖大橋」を早期に具現化すべきだと思うがどうか。

土木部長 利根川リバーサイドロード構想と合わせて今年度から実施する道路網計画の中で検討し、周辺の利根川にかかる橋梁の状況、交通量の推移、千葉県側の道路整備を踏まえ、長期的課題として取り組んでいきたい。

【鹿島港北公共埠頭の整備】

西条県議 鹿島港は現在、南公共埠頭のみで貨物を取り扱っており、北公共埠頭が完成していないため片肺操業の状態、北公共埠頭の水深10メートルの岸壁整備が進められている。

4万トン級的大型船舶が利用される現在、港湾機能を充分に発揮するためには、13メートル岸壁と航路泊地の整備が必要。

マイナス13メートル岸壁の整備を始めることにより、1日も早く鹿島港が完成することを望むが、北公共埠頭の整備をどのように計画しているのか？

土木部長 現在も工事を進めており、平成14年度中にマイナス10メートル岸壁、パースと臨港道路、15年度末頃には2パース目、平成17年度頃に埠頭用地を併用する予定。マイナ

ス13m岸壁については国に、早急に着工されるよう働きかけます。また、地元負担金についても工業整備促進法の廃止に伴う5年間の期間内に協議を進めます。

【ワールドカップ開催準備】

西条県議 2002年ワールドカップの試合が行なわれるカシマススタジアム、国際サッカー連盟関係者の宿泊施設が完成し、国道や県道などのインフラ整備が進んでいるが、ツアーバスや家用車駐車場確保の見通し、交通輸送の基本的な取り組みを伺う。

大会開催の絶対条件は「事件事故を起こさないこと」の一言に尽きる。スタジアム周辺の安全確保は、開催自治体が行うこと、通誘導や自主警備を行うことになっているが、関係機関と連携を図り、万全の体制で大会を成功させて欲しい。

【松くい虫対策】

西条県議 松くい虫による被害は茨城県全体で平成12年度には前年度の1.7倍に増加し、特に鹿島郡の海岸林の被害が目立っている。かつて松くい虫に抵抗性のある品種の育成が試みられてきたが、海岸の防

災林として植え込むことも考えられる。この品種育成の成果はどうなっているのか、樹種転換が考えられないのか。10月の補正予算で当初計画に加えて緊急地域雇用対策関連事業により6千㎡の枯れ木の伐採処理をすることになっているが、これで充分なのか？

農林水産部長 抵抗性アカマツは91万本が出荷され、抵抗性クロマツは検査の継続と海岸部での実証試験を実施しており、今後はマツ適地に抵抗性マツの植栽を促進していきたい。枯損木の伐採処理は事業の拡大を検討している。また、平成17年の本県、全国植樹祭に向け、被害対策を積極的に実施する。

【救急救命センター整備】

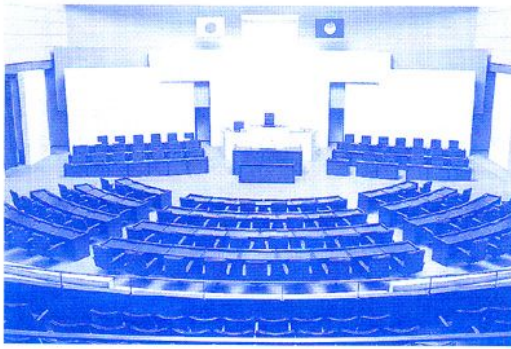
西条県議 県民の「いのち」を守ることは県政の重要課題。その最前線に位置づけられる救急救命センターは現在、水戸、土浦、つくば、境に設置されているが、鹿島郡・行方郡の救急患者は千葉県旭市や成田市の救急救命センターに搬送されることが多い。県の単独事業でも空白地域をなくすべきではないか？

保健福祉部長 今後、市町村医師会・消防機関など関係機関を加えた協議会を設置し、鹿行地域など救急救命センターから離れた地域における救急医療体制の充実強化について具体的に検討してゆく。

「テロ防止対策」

西条県議 ニューヨークで起きた同時多発テロは大きな衝撃を与えた。茨城県は東海村から旭村にかけて多くの原子力施設が集積しており、もしテロによる事故で炉心にダメージが発生した場合、深刻な被害が予想される。核物質が盗まれた場合は国際的な大事件となることは明らか。県警本部として、原子力施設などの現場でどのような防犯対策を取るのか？

県警本部長 国際テロリストの動向について、あらゆる警察活動を通じて情報収集に努めている。原子力関連施設については、機動隊等による固定警戒などで警戒警備を強化している。



平成十三年三月の予算特別委員会での積極的な提言（抜粋）

【鹿島南部土地改良事業】

西条県議 鹿島南部土地改良事業の全体計画は、通常では考えられない長い期間がかかっていると思うが、今まで県はどのように対処してきたのか？

農林水産部長 西部二木地区については、昭和47年に県営ほ場整備事業として着工。平成7年には区画整備工事が完成。平成11年度に換地も終了し、事業完成。当該地区は鹿島開発の影響から、たぐさんの不在地主が生まれたり、権利移動が非常に複雑であった。権利者の確定作業を含め、様々な問題があったために長期間を要した。

西条県議 輸入農作物による農作物の価格低迷や後継者不足が深刻になっている現在、土地改良に対する意欲はないように思われる。どのようにしてこの事業の展開に結びつけるのか？また、事業をすすめるにあたっては残りの事業について必要性を改めて見直し、創設換地によって確保できる金額を算出した上で取りかかればきであると思うが。

農林水産部長 今後の方針を叩く、あるいは地元土地改良区等と協議を行うなど見直し作業を実施中。また、全計画の全

体を一律、そして同一水準に整備する方法を改め、集落単位での短期簡潔型にするなど、より実効性のある計画にしたいと考える。末端整備の実施にあたっては、事業の中で道路用地などの非農地を創設し、農家の負担を少しでも軽くしたい。

西条県議 鹿島開発の後始末という位置づけで、鹿島特別会計での補てんを含めて検討すべきであり、また、地元にある企画部や農地局から適材を派遣し検討するなどきちんと方向付けをすべきと思うが部長の考えを伺いたい。

農林水産部長 この事業は、波崎町発展のためにも非常に重要な事業と認識しており委員ご提案の内容を含め鋭意努力してまいります。

【神栖総合公園の整備】
西条県議 LPG共同備蓄基地 RDF再資源化センター設置の見返りとして（神栖）地域住民が強く求めていた憩いの場、公園整備事業の進捗状況は？

企画部長 平成13年度新規事業として3億4,050万円の予算を計上。（都市計画、土地利用の用地変更はすでに完成）公園面責の規模、現在の

県財政状況等を勘案すると整備期間には約5年が必要。平成17年度の完成を予定（平成15年度には部区域の開園）

西条県議 再資源化センター設置にあたっては、ダイオキシン問題等を含め賛否両論様々な議論、苦労があった。その経緯を踏まえて、行政と住民の信頼関係の大切さという点から、ぜひとも約束履行をしていただきたい。

【ワールドカップのソフト面の整備】
西条県議 未だ地域の関係者に浸透していない宿泊、防犯交通対策などどのようなようになっているか？

企画部長 交通対策は昨年9月ワールドカップ茨城県開催準備委員会のもとに交通輸送対策の専門部会を設置。地元市町村、警察署等々の関係機関に意見を伺いながら検討を進めている。

西条県議 今までの協議内容が県、国、FIFA間だけで、地元には伝わらなかった。今後は地元、警察署にも情報を速やかに提供していただきたい。

【第三セクターの対応】

西条県議 行財政改革の大きな流れの中で、県が出資している70あまりの第三セクターについて、そのトップを多忙な知事、副知事がとめているが、学識経験豊かな人材を広く民間から求めたい。

知事 執行体制については、民間の専門家の方にも携わっていただく等、適宜適切に見直しを進めていきたい。

【街路樹の植栽】
西条県議 鹿島地区の街路樹問題（環境条件が合わない為すぐ枯れてしまつ）について指摘した所、以下のような答弁があった。

①植栽緑化計画をつくり、順次実施する。
②街路樹などの緑化基金を立ち上げる。

西条県議 鹿島地区、とりわけ国道124号などの街路樹は依然として無惨な状態にある。現状のままで、ワールドカップ開催に際し、二大汚点となりがねない。少なくとも鹿島セントラルホテルからカシマサッカースタジアムまでの国道124号、51号に関して今年中に植栽をしていただきたい。また、屋外広告物条例を活用し、都市景観を左右する広告、看板についても対処していただきたい。



決算特別委員会 県内調査
(県立こども病院)

フラッシュ 2001



元 X-ジャパンのボーカル
TOSHIが慰問に
(西条県議が理事長を務める
ケアハウスマリニア銚子)



全国都道府県議会議長会及び
茨城県議会議員在職10年以上表彰



議会運営委員会 県外視察
(神戸スタジアム)



ワールドカップ500日前フォーラム
アントラースの選手と

《選挙区が変更となります》

平成13年12月の県議会で議員定数は正一部改正条例の可決により、本年12月予定されている茨城県議会議員選挙に於て、鹿島郡選挙区は鹿嶋市が単独選挙区で定数1名、鹿島郡(旭村、銚田町、大洋村、神栖町波崎町)が定数3名に変更になりました。

鹿嶋市の皆様には、西条後援会に対し3期12年間にわたる長い間、絶大なるご支援をいただき誠にありがとうございました。選挙区は変更になりますが、鹿嶋市を含めた鹿島地域発展のため西条県議は更なる努力を致す所存でありますので、旧に倍するご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



納涼祭行われる

恒例の納涼祭も大勢の皆様にご参加いただきまして盛大に開催することができました。誠にありがとうございました。(若人あきら&三条ひろみショーは楽しんでいただけましたでしょうか?)



- 発行 平成14年1月13日
西条昌良後援会
- 事務所 波崎町8440-5
- 電話 TEL 0479 (44) 5044

ホームページアドレス
<http://www.net-ibaraki.ne.jp/saijo/top.html>
 茨城県議会ホームページアドレス
<http://www.pref.ibaraki.jp/gikai/>